

## 貧血検査のお知らせ

思春期の子供は成長速度が著しく、鉄需要が大きいために、潜在性の鉄欠乏状態に陥り貧血が起こりやすくなります。貧血とは、血液の赤い色を示す血色素（ヘモグロビン）が減少し、そのためにからだの組織が酸欠状態になることをいいます。一般的に、貧血になると顔色が悪い、疲れやすい、気力がない、めまいや息切れがするといった症状が現れます。特に思春期は、身長や体重が急激に増えて血液の量が増えても、それに見合うだけの血色素の材料（鉄や蛋白質、ビタミンなどの栄養素）が十分に供給されずに血色素が不足しがちになると言われています。

板橋区では、成長期の貧血を早期に発見し、健康に過ごしていただくため、7年生（中学1年生）に貧血検査を実施しています。この検診の趣旨をご理解いただき、下記留意事項も確認のうえ、受診をお願いします。なお、採血検査が難しい事情がある場合には、無理せず事前に学校へお申し出ください。

- 1 対象 7年生（中学1年生）全員  
前年度の検査結果が「貧血」「軽度貧血」となった生徒  
前年度受診できなかった生徒
- 2 検査内容 一次検査  
血液検査（赤血球数、白血球数、血色素、ヘマトクリット、血小板）  
採血量 2 c c
- 3 検査場所 各中学校
- 4 検診結果 保護者様へ個別にお知らせします。  
※一次検査の結果、必要な方には更に詳しい血液検査を行います。
- 5 留意事項
  - \*採血の際、血液凝固が起こる場合があります。その際には、健診機関より学校へ連絡し、再検査のご案内をさせていただきます。
  - \*アルコール綿で皮膚が赤くなったり、かゆくなったり、はれたことがあるお子様は、あらかじめ、お知らせください。
  - \*下記の場合は、**検診を中断**することがあります。
    - ★ご本人が検診会場で採血を拒絶し、安全に採血できない場合
    - ★血管が確認できず、採血できない場合
  - \*採血後に、採血部位の腫れや皮下出血、痛み等が起こることがありますが、多くは自然に消失します。まれに症状が良くならず強くなる、しびれがある時には受診し、状態の確認が必要な場合もあります。万が一、そのような状態があった場合には、学校へお知らせいただき、受診してください。

**志村第四中学校の検診日は 9月5日（木）です。**

**※ 検査を受診できない事情等がある場合は、事前に学校へお申し出ください。  
（2学期開始後すぐの検診のため、可能な限り7～8月中にご連絡ください。）**